様式３

会　　議　　録

会議名 （審議会等名）		相模原市役所本庁舎等整備検討委員会		
事務局 （担当課）		財政局財政部管財課　電話０４２－７６９－８３０５（直通）		
開催日時		令和８年１０月１３日（火）　９時００分～１０時４５分		
開催場所		会議室棟２階第３会議室		
出席者	委　員	１２人（別紙のとおり）		
	事務局	６人（財政局長、財政部長、管財課長　外３名） ※このほか、若手職員ワークショップ代表者３名出席		
公開の可否		■可　□不可　□一部不可	傍聴者数	１人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議　題		１　第１回市役所本庁舎等整備検討委員会の結果について ２　相模原市役所本庁舎等整備若手職員ワークショップの結果について（報告） ３　新たな庁舎等に求められる役割の今後の検討について ４　整備候補地の検討について		

議　事　の　要　旨

１　第１回市役所本庁舎等整備検討委員会の結果について

事務局から説明の後、質疑を行った。

（小杉委員）職員数は多すぎず・少なすぎずという説明があったが、労働組合の観点からは、離職率が高く、採用人数も充足しておらず、他市に流れていく動きもあると聞いている。相模原市の現在の採用状況はどうなっているか。

（事務局）全体として、地方公務員の採用の状況は民間企業との競争もあり厳しい状況である。本市では離職等が目立つ状況もある。庁舎の位置や老朽化と離職の関係までは明らかではないが、庁舎整備に当たってはそこも踏まえて検討していく。まずは現在の職員数として設定するが、業務の効率化、業務量の変化などもにらみながら検討していきたい。

（杉野委員）９ページの「他の政令指定都市における市役所本庁舎と区役所の関係性」の中に、近年、市庁舎を建て替えた各都市における職員採用倍率など採用状況も記載があるとよい。駅が近いと人気などの傾向が把握できると思う。

（廣田委員）各都市の職員数は本庁舎で働いている人数か、区役所も含めた人数か。

（事務局）普通会計の職員数としている。これは、都市間での業務範囲の違いを考慮して平準化した人数となる。例えば、交通、病院など特殊な業務に対応する職員は除いた人数である。

（委員長）一般的に市役所、区役所等で働いている人数はすべて含んでいる。各自治体で最低限持たなければいけない業務に従事する人数は入っている認識である。

（廣田委員）現在、相模原市の本庁舎で働いている職員は何人か。

（事務局）２千人弱である。

２　相模原市役所本庁舎等整備若手職員ワークショップの結果について（報告）

事務局から当該ワークショップに参加した若手職員の紹介があり、若手職員からワークショップの報告を行った後、質疑を行った。

（杉野委員）駅近の立地を求める意見はあったのか。

（若手職員）そのような意見もあったが、意見をまとめていく中で場所の話ではなくなり、より本質的な結論となった。

（倉斗委員）各項目での結論、価値を深掘りし、なぜその価値を示したのかを整理していくと、２つくらいに絞られていくのではないか。最終的に人にしかでき

ない仕事に注力するとあるが、働きやすいオフィスにしていくことも、業務の効率化によって生まれた時間を窓口など市民をはじめとした人との時間に使えるようになるというイメージと理解した。市民にとっての市役所、働く人にとっての市役所というのが掲げられる中で、これを軸に立地も考えていけそうだと感じた。

（若手職員）結論としては６つに分けたが、ご指摘のとおり重なる部分はあった。

（天野委員）働きやすさの点で、今は建物が分かれているが、今後１つの建物に集約していくと考えられる。一方で建築的には分棟形式は建物間を歩いて移動できる豊かさもある。横浜市役所のようなイメージで、今後１つの建物に集約されていくことについて議論はあったか。

（若手職員）今後はより一層専門性が追求されていくという議論があった。部署ではなく、１つの目的・ゴールに向かって人が集まるような働き方ができるとよいという意見があった。

（若手職員）市民が来た時に窓口がわかりにくいという意見があったため、建物が分かれている現状の配置では不便という意見もあった。

（若手職員）普段、図書館で仕事をしているが、会議等で本庁に来ることもある。目的の部署に行くのに迷うこともあるので、１つの建物に集まっている方がわかりやすいと感じている。

（天野委員）市民のわかりやすさなどの観点からも候補エリアが見えてくるのではないか。

（讃岐委員）各委員から様々な指摘があり、指摘によって新たな気付きもあった。ここで見えてくる課題からは引き続き議論できそうなポイントも見えてきたので、議論を継続することが重要ではないか。

（委員長）終業後に交流を図ることができるスペースなどの意見はなかったか。

（若手職員）ラウンジのようなオフィスだとコミュニケーションしやすいという意見があった。

３　新たな庁舎等に求められる役割の今後の検討について

事務局から説明があった後、質疑を行った。

（委員長）若手職員の意見でも「健康」というキーワードがあったが、「健幸」がよいのではないか。体調だけではなく心も健康になる、市民にも明るく接することができる、という意味を込められるとよいので表記を検討してほしい。

（小杉委員）若手職員の意見は市役所内からの意見と認識しているが、民間の状況なども横並びの状況として見られると、比較しながら議論できて検討が活性化するのでは。

（委員長）行政だけでなく民間の取組も比較参照できるようにしてほしい。

４　整備候補地の検討について

事務局から説明があった後、質疑を行った。

（小橋委員）エリア評価で「都市更新性」という評価項目があるが、更新性があった方が候補地としてふさわしいということか。

（事務局）まちづくりのプロジェクトが進んでいるエリアもあるため、庁舎との親和性を考慮して評価している。まちづくりの動きがあるもの、かつ庁舎と親和性が高いものを高く評価している。

（小橋委員）都市の更新性が高いエリアは庁舎がなくてもにぎわう可能性があると考えられるが、更新性がない場所にこそ庁舎を置くという観点もあるのではないか。

（委員長）都市の更新性があるからこそ、関連整備が効率的に進められるという利点もある一方、更新性のないエリアは庁舎移転が起爆剤になる可能性もあるので、どちらがより良いというものではないかもしれない。その観点も評価に追記してほしい。

（廣田委員）評価項目「延床面積確保可能性」では、橋本駅周辺と相模原駅周辺の評価が「△」だが、高層化の可能性も踏まえて評価しているのか。例えば１万平方メートルの敷地で５階建てにすることで５万平方メートルを確保するという可能性を踏まえても「△」なのか。

（事務局）指定容積率も考慮して検討しているため、高層化して延床面積が確保できるかどうかも検討した上での評価である。

（委員長）土地利用転換は難しいため、駅前広場を敷地とする場合は１階部分が交通広場、２階以上が庁舎になるようなイメージと理解している。

（事務局）ご認識のとおり、他自治体でも事例のある交通広場の上部を庁舎とすることも可能性があると想定している。

（讃岐委員）資料には容積率の変更や土地利用転換によって評価が変わる可能性があるという注意書きがあり、現時点での評価としては違和感はない。エリアを絞ることが主眼にある段階としては、評価の枠組みはある程度妥当と認識している。ただし、資料内に各エリアの定義の掲載がない。現庁舎周辺といった場合も相模原駅までと捉えることもできる。各エリアをどのように設定したのか、地図の資料が欲しい。また、面積の算定基準の説明の中で職員１人当たり面積も記載があるが、働き方改革や空間デザイン対応が進む中、議会の議員１人当たり面積が広すぎる印象を抱いた。議会関係諸室は利用する期間が限定されており、例えば職員と共有できるスペースにするといった議論があってもよいのではないかと思う。

（事務局）都市計画マスタープランを踏まえて市内１３エリアを抽出し、各エリアとして半径１キロメートルの円で示し、庁舎を建てられる市有地があるかを検討した。
（天野委員）マーケットニーズ調査では、複合施設、相乗効果というキーワードがある。複合化の想定有無からも、エリアを駅前にするのか、郊外にするのか論点が変わってくる。庁舎の場合、単体では休日に人の出入りがないため、駅前に配置した場合にぎわいを削いでしまう。相模原市では複合化したい施設の想定があるのか。厚木市では図書館とプラネタリウムなど、休日でも集客できるポテンシャルがある建物になっている。
（事務局）現庁舎周辺にも行政機能が分散しているため、利便性、管理コストの観点から集約は検討しているが、具体的な複合化の想定はない。
（杉野委員）評価項目「アクセス性」で、上溝駅周辺の評価が「◎」なのは違和感がある。相模線は１時間当たりの本数も少ない。相模大野駅の方が都心までのアクセスでも優位性もある。「アクセス性」の評価では１時間当たりの電車の本数なども考慮してほしい。
　また、橋本駅周辺及び相模原駅周辺は、駅前広場を敷地として想定しているのか。
（事務局）ご認識のとおりである。
（杉野委員）相模大野駅周辺では、北口の駅前広場も候補として検討したのか。
（事務局）相模大野駅北口の駅前広場についても検討している。駅前広場を敷地として検討する上では、周辺の建物が駅前広場に隣接していることで接道条件を満たしている場合には立体化により接道条件を考慮することが必要になる。これらの条件を踏まえると、相模大野駅周辺は庁舎に適さないと判断した。
（杉野委員）橋本駅南口は土地区画整理事業が決定しているが、庁舎を移転することにより開発に影響が出るのではないか。既存計画との整合なども考慮して記載してほしい。また、複合化の観点では、既に杜のホールが橋本駅にあり、市民会館のホールを移転させるのはふさわしいのかという観点もある。敷地評価の観点に入れてほしい。
（委員長）評価項目「アクセス性」は、鉄道路線の有無のみで評価しているため、交通サービスの頻度も評価に含めていただきたい。また、駅前広場など施工性の観点や複合開発の観点も次の絞り込み段階では考慮していただきたい。
（廣田委員）評価に当たっては、職員の働きやすさを重視するのか、市民の利用しやすさで考えるのか。また、実際に相模原市の全エリアの市民の意見を集めることは行わないのか。
（事務局）基本としては市民の利便性が一番である。職員の働きやすさを上げることは、パフォーマンスを上げて、結果として市民に還元することが目的である。

中間とりまとめの意見聴取は来年７月以降を目途に考えている。
（倉斗委員）「延床面積確保可能性」の評価項目があるが、延床面積が確保できないなら、そもそも庁舎を建てることができないということになるのか。それとも、面積確保の可能性は低いが、他の条件が整っており市民の賛同が得られれば敷地を確保する方法を検討するのか。
（事務局）評価項目「延床面積確保可能性」では、エリア内に市有地がある場合に確保できる延床面積で評価している。土地を新たに取得することは現時点では想定していない。延床面積確保の可能性は絶対条件で、この評価が「×」の場合は基本的に候補となりえない。
（倉斗委員）市有地があり調整によって可能性があるものは「△」、市有地はないが民間等との交渉の余地があるものは「×」ということか。
（事務局）民間敷地や相模原駅北口の国有地等も含めて確保可能性を整理している。
（倉斗委員）そもそも敷地がなく移転可能性がない場所に評価の時間を割くのではなく、可能性が高い場所に絞って、市民のニーズを叶えるためにはどのようにしていけばよいのかを議論すべきではないか。
（委員長）次の検討段階ではエリアを絞った上で検討するのか。
（事務局）そのとおりである。
（委員長）麻溝台・新磯野地区は、保留地を確保できる可能性があるが、「延床面積確保可能性」の評価が「×」なのは、面積が条件を満たさなかったということか。
（事務局）麻溝台・新磯野地区に関しては、保留地を利用する場合の検討は行っていない。麻溝台・新磯野地区は土地利用方針の中で産業系の位置付けであり、庁舎機能としてはふさわしくないためである。
（委員長）土地はあるが、用途が合っていないため検討から外しているのか。
（事務局）更新性の取組が庁舎とは違うためである。
（委員長）「延床面積確保可能性」の評価としては、保留地で面積は確保できるのであれば「×」ではなく「△」ではないか。恣意的な評価をしていると捉えられないよう、評価の方法はエリアごとに揃え、明確にしてほしい。また、評価項目「行政継続性」は、該当の有無のみで、各リスク内でレベルごとの評価はしていないのか。
（事務局）洪水浸水・内水浸水・土砂災害・急傾斜地崩壊の４つのリスクについて、エリア内のリスクの該当の有無で４段階で評価している。
（委員長）浸水深さなど具体的なリスク評価は行っていないのか。
（事務局）具体的な数字までは考慮しておらず、該当するかしないかのみである。
（杉野委員）対象エリアをハザードマップ上で示したような資料もあるとよい。

相模原駅周辺は緊急輸送道路へのアクセスの評価が「△」になっているが、どのように判断しているか。

（事務局）相模原駅周辺で言うと、緊急輸送道路が周縁部に存在するため、「△」としている。

（杉野委員）相模原駅周辺に市役所が移転した場合には緊急輸送道路も整備されるのではないかと思う。評価まとめを見ると、現庁舎周辺と橋本駅周辺は「◎」が３つ、相模原駅周辺は「◎」が２つで評価が１段階下がるようにも見えているので、検討をお願いしたい。

（委員長）資料には評価の前提条件を記載した上で評価結果を示すなど、評価の過程がわかるようにし、誤解が生じないようにしていただきたい。

（倉斗委員）現庁舎周辺での建替えとなる場合は、建設中の代替地の検討も必要になる。次の検討段階ではそのような点での事業実現性も考慮・評価していくべきである。

（事務局）次の敷地評価では、事業実現性の難易度も評価していく。また、現庁舎周辺の場合、現庁舎敷地だけでなく、周辺の市有地も可能性に入れて検討していく。

以　上

相模原市役所本庁舎等整備検討委員会　委員出欠席名簿

	氏　　名	所　属　等	備　　考	出欠席
1	大沢　昌玄	日本大学理工学部土木工学科教授	委員長	出席
2	倉斗　綾子	千葉工業大学創造工学部デザイン科学科教授		出席
3	讃岐　亮	東京都立大学都市環境学部建築学科助教		出席
4	割柏　秀規	相模原市自治会連合会　副会長兼事務局長		出席
5	杉野　孝幸	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会　常務理事		出席
6	廣田　静香	相模原青年会議所　理事長		出席
7	山口　諒	津久井青年会議所　理事長		出席
8	岡安　里彩	相模原・町田大学地域コンソーシアム　さがまち学生 club		出席
9	小杉　義明	相模原地域連合　事務局次長		出席
10	天野　佑亮	相模原市 PTA 連絡協議会　副会長		出席
11	小橋　隆司	公募市民		出席
12	岩﨑　あかり	公募市民		出席